

であります。

さらに、町単独で行っていたごみ処理事業においては、クリーンセンターの老朽化等により、焼却施設の更新には30億円以上の試算がなされ、その財源も起債等により将来にわたり財政を圧迫することが確実なことから、平成23年6月に地元住民皆様やあきる野市・日の出町・檜原村の加入自治体のご理解を得て西秋川衛生組合へ加入をさせていただき、加入に伴う施設整備負担金は7億6千万円ほどございましたが、22億4千万円の財政負担を軽減し、住民生活に必要な可処分ごみ処理に対する不安が解消されました。また、最新のごみ処理施設であるため、ごみ分別の負担軽減など住民皆様のごみ処理方法が格段に向上したものと考えております。

さらに、公設の斎場整備の要望や火葬場の整備につきましては、町単独での整備や運営は不可能なことか

ら、秋川流域斎場組合に平成25年5月から加入させていただきまして、住民の施設利用料において、式場使用料につきましては従来と比較して2分の1、火葬料につきましては8万円が1万円になる等、安価な料金で使用でき、広く住民に寄与する生活基盤の課題解決を図りました。

また、奥多摩町の町制施行から「観光立町」を標榜する町として、おくたま海沢ふれあい農園の整備、森林セラピー事業の開始、はとのす荘の建て替え等を行い、現在は「日本一きれいな観光用公衆トイレ」を目指し、奥多摩駅前観光トイレの改修や観光用公衆トイレの清掃を行い、観光事業の振興を実現するなど、数多くの町の課題に積極的に取り組んでまいりました。

このような中、行財政改革、財政基盤の安定にも努めさせていただき、平成16年5月に私が町長に就任した時点の積立基金の状況



▶改修後の奥多摩駅前観光トイレ

は、10億2千万円程度であったものを平成29年度末には、42億8千万円と約4倍に増加させる一方、一般会計における地方債現在高は、平成15年度末に44億5千万円でしたが、平成29年度末には22億9千万円と約2分の1に減りました。これは、新たな借入金の抑制を行い、その分の財源補完を東京都市町村総合交付金に求め、将来にわたる財政不安の解消に取り組んだ結果であります。

## 【令和2年度の主要事業について】

まちづくりの最上位計画である「第5期奥多摩町長期総合計画」の施策の大綱に沿って、令和2年度予算で特に重点としている施策や新規事業について説明します。

### 第1章「みんなで支えるホットなまちづくり」

#### ○誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり

住民皆さんが明るく健やかに暮らすためにはまず健康でなければなりません。このための各種検診事業、保健推進活動事業、定期予防接種事業、食育推進事業、健康相談事業などの疾病予防につながる事業を実施するほか、地域医療体制及び医療保険制度の適切な事業運営が図られるよう、着実に努めてまいります。

#### ○安心して子どもを産み育てる地域づくり

過疎化による少子高齢化が進む当町においては、子供や子育て家庭の環境づくりのため、若者のふれ愛から結婚、出産、子育てまできめ細やかな支援を行って

まいります。

特に、重点施策の一つとしている少子化・定住化対策は、15項目に及ぶ子ども・子育て支援推進事業の制度を今後も推進するほか、住宅の新築や改築に対して支援する若者定住応援の助成を推進するなど、町内在住の家庭はもちろんのこと、移住者への支援も合わせて行うことにより、子どもや子育て世代の増加を図り、自治会等による地域の絆への維持、活力の向上に努めてまいります。

《次ページ左上へ続く》